

議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団
団長 渡辺敏光
電話・fax 31-6431
w*toshi@agate.plala.or.jp
松本敏子
電話・fax 59-4607
mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党平塚市議会議員団
電話 0463-23-1111 (内線 2375)
平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

日本共産党議員団の法律相談
次回は10月11日です。
午後1時 (要予約)

No.997 2008年9月28日発行

9月議会で西口東地自転車・ バイク駐輪場整備について質問

松本敏子議員の質問 第2段

西口東地自転車・バイク駐輪場整備について

【質問】 9月議会で補正予算として9億3千万円が上程された。当初、そのうち国の「まちづくり交付金」は4割と説明をされていたが、2億8250万円となったのはなぜか。

【まちづくり事業部長】 このまちづくり交付金制度は、平成16年度から20年度の5年間に行われた全体の交付対象事業費の4割を限度に交付されるものであり、個別事業に4割と決まっているものではない。

本事業は当初、平塚市開発公社の施工であったことから、公社の見積額、これは昨年10月だった。8億3千万円を全体事業費として算定し、平均落札率0.85を乗じて、7億550万円が交付対象事業となり、その4割がまちづくり交付金2億8250万円となったもの。



上はイメージ図
西口東地自転車・バイク駐輪場概要
建築構造 鉄骨造地上5階建
総床面積7,260.55㎡
収容台数 自転車2,431台
バイク972台
合計3,403台
施設概要
1階 自転車・バイク (一時預り)
2階 自転車(定期)
3階 自転車・一部バイク(定期)
4~5階 バイク(定期)

上記のメールアドレスまたは電話にて、皆さんからのご意見・ご要望をお寄せください。

【質問】 市民の方から、「24時間営業でしかも5階建て駐輪場がそばに建設されると、プライバシーを侵害される心配があり、考えてほしい」との要望があったと聞いているが、その点をどのように考慮されたのか。また、建物の開放部分については、開放部分を狭くしたり、覆うことでも、プライバシーの保護ができたか、その検討はされたのか。

【まちづくり事業部長】 プライバシーの侵害について、要望されているお住まいと、計画建物との位置関係や距離、用途地域などからプライバシーの侵害に当たらないと判断している。プライバシーへの配慮については、建物内部に防犯カメラの設置や管理人による巡回を実施し、不審者対策を行って参りたいと考えている。建物開放部分についての検討は、より経済的な移動式粉末消火設備を設置する計画でいる。

【質問】 近隣住民の方々に建設にあたり説明をしたが、その後内容を変更している。変更について、住民の方々に再度説明はあったのか。

【まちづくり事業部長】 今後速やかに配布し、ご理解を求めて参ります。

【質問】 自治体が建設する大型建築物において、住民を無視した施工を行うことは民間の建設事業者を監督するという公的責任を投げ捨てることになりかねない。自治体が施設を建設するにあたっては、住民に十分な配慮とご理解を求める努力が必要ではないか。この駐輪場建設にあたり、市長が発言された「十分お互いに話し合える機会を得ていきたい」とは具体的にどういうことか。

【まちづくり事業部長】 工程計画や工事車両の進入等を商店街、自治会に十分説明し、ご理解とご協力をお願いしてまいりたいと考えている。

【質問】 今回の駐輪場建設に関しては、市民・議会・商工会議所に対して説明が一貫していなかったことに、最大の原因があった。

そして、もう一つは住民の方々に対する行政の説明責任の軽視にある。今議会でも「住民への説明はどうだったのか」という質問がいくつも出た。市は、企業や商工団体に出向くと同様に、住民に対しても出向いて十分説明をし、理解していただかなくてはならないはず。ところが、昨年水害の時も非常に強く感じたが、今回も「すべて職員は、市民全体の奉仕者である」という立場、一番大切な市民への説明という部分が非常に軽視されていることに危惧している。「自治基本条例」を定め、市民の市政への参加の原則、対等な立場、協働の原則という部分で、市民は変わりつつあるのに、一番考え方が変わっていないのが行政側ではないか。ご見解を伺いたい。

【まちづくり事業部長】 今後も市民に対し、しっかり説明をし、十分ご理解を得られるよう取り組んでいくこととお約束していきたい。



平塚市集中改革プランから

【質問】 この「集中改革プラン」の中で、特に重点的に取り組んできたものに「職員100人削減 現業職員の採用ゼロ」がある。また、さらに、事務事業の見直しや民間委託を推進してきた。

その中には、必要な改革も確かにあったが、職員のメンタルな長期休暇をとっている人数は看過できない。職員の100人削減が、本当に行政改革、市民サービスの向上となりえているのか。

【企画部長】 地方分権改革の進展による国・県からの権限委譲や市民ニーズの多様化による新たな行政需要に対応しつつ、一方では簡素で効率的な行政運営を目指し、組織の見直し、指定管理者制度の導入をはじめとした業務の外部委託化、委託業務の範囲拡大等を行い、職員数の見直しを行ってきた。自治体に求められるものは「住民福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を上げること」とされている。定員管理の適正化は行政改革の大きな柱と考えている。また、職員の健康管理にも充分留意しながら、業務量や業務の特質に見合った職員の適正配置に努めていきたい。

【質問】 今年から、「害虫駆除や消毒」を担っていた現業職員が退職し、刺されれば命取りになりかねないスズメバチの巣の撤去も、自己責任とされ撤去するのに1万円とられる。こうした市民へのサービスが削減され、市民負担が増大したもので経費削減の効果とされている点をどうお考えか。

【企画部長】 「民」でできること、「公」が担うべきことを見極め、事務事業をより効果的・効率的に実現することが必要と考えている。受益者負担の観点から有料化も検討したが、民間ですでにやっていたので、行政がやらなくてもいいだろうと廃止した。

【質問】 保育園を指定管理者制度以外の方法も含めた中で、可能な施設から民営化の研究を進めるとし、平成21年半ばには方向性を決定するとしている。保育園の在り方をこの3年間検討した結果はどうだったのか、これからあと1年で結論を出すと言うが、今後、どのような検討をしていくのか。

【企画部長】 保育のニーズが非常に多様化している。平塚市保育園民営化検討委員会を組織して委託も含めて検討していただいた。公立保育園の在り方ということで、公立保育園検討会を保育園の職員で組織して検討していただいた。民営化については訴訟の問題や保護者とのトラブル等、色々ありもう少し検討する必要があるということで、保育サービスの充実のための方策、公立保育園運営の方向性などを検討しているところで、平成21年度には方向性を決定してゆく。



障がい者の自立に向けた施策を

【質問】 障害者の方々の自立を推進するには、移行訓練の場の確保と、グループホーム利用者への家賃補助は必要不可欠。グループホームへの家賃補助を「進めていく」と答弁をいただいてもう2年がたとうとしている。自分が元気なうちに自立するわが子の姿を見たいという親の思いを、早急を実現していただきたい。

【福祉部長】 移行訓練の場の確保では、受け皿である事業所の空き部屋や人員を確保するなどの対応は経営的に難しいと考えている。県の補助メニューにもあるが、対象が入所施設から地域生活移行を予定している障害者となっており、在宅の方は対象でない。そこで、市はグループホームの設置促進を図るとともに、活用方法を検討していきたい。県に「グループホーム・ケアホーム体験事業」をもっと利用しやすく、現実に機能するよう働きかけている。グループホームの家賃補助に対しては、できるだけ早い時期の実現に向け、効果的・効率的な支援策を構築したいと考えている。

【質問】 県内で家賃補助をしていない市は、平塚市を含め2市のみとなり、平塚市の障害者団体や施設からも「同じ県民でありながら、格差が生じている」ということに不満を募らせている。早急に、地域格差をなくし、障がい者自身も家族も安心して暮らせる基盤を作っていただきたい。

【福祉部長】 その必要性は大いに感じている。事業者のご理解をいただきながら、十分検討して推進していきたい。



平塚市は「野良猫」にも不妊・去勢手術の補助開始！

皆さん、平塚市はこの9月議会で「猫の不妊・去勢手術」の助成制度を拡大することを発表し、来月10月1日から実施することとなりました。

補助を受ける第1条件の「市内に住所を有し、生後3ヶ月以上の猫を飼養していること」が「市内に住所を有し、猫は生後3月以上であること」となり、のら猫もOK！

第2の「市税等を滞納していないこと」は変わりません。

第3「当該年度内で、一世帯1匹とすること」が「当該年度内で、一世帯5匹まで」に拡大されました。

手術をお願いする獣医さんの範囲も拡大され、「平塚市及び平塚市に隣接する市町に開業する獣医師が行う猫の不妊又は去勢の手術とする。」から「神奈川県内で開業する獣医師が行う猫の不妊及び去勢の手術」となりました。

補助金の額は

1. 不妊手術（メス）1匹につき3000円
 2. 去勢手術（オス）1匹につき2000円
- から

1. 不妊手術（メス）1匹につき5000円
 2. 去勢手術（オス）1匹につき3000円
- になりました。



かくれんぼ